



2015～2016年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

# やらまいか

会長／小野喜明 幹事／度会尚志 会報委員会／廣田 篤・中村嘉輝 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所

クラブテーマ 30周年記念事業を通じて、温故知新、上下一心  
 30周年記念事業を通じて、地域や国際にお返ししよう  
 30周年記念事業を通じて、友情と寛容を深めよう

事務局／豊川市豊川町辺通4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第18回 通算1410回 平成27年11月24日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	11/10 修正出席率
		61名	32名	60.4%	90.9%

ゲスト：地区ロータリー財団委員会 中村公彦副委員長 (名古屋名東) ビジター：メーカー受付8名

## ★会長あいさつ

## 小野喜明会長



先週、秋の行楽がありました。お台場、靖国神社から浅草界隈散策、そして観光組とゴルフ組と大変楽しく行

ってることが出来ました。

しかし今週になってその靖国神社で大変な事件が昨日ありました。ゲリラ事件と日本では言いますが、世界的に言えばテロ事件です。大変ショックでした。靖国神社は明治時代の前の戊辰戦争以来の戦争で亡くなった戦士の方々240万体の英霊が祭られています。ロータリーと宗教、政治は無関係ですが、靖国神社へ行って玉串を奉納してまいりました。

「奉納」とか「奉仕」の「奉」の字の成り立ちを調べますと、このように草木の繁さまが上の方にあり、真ん中に五本の指の手、両側に手があり、玉串を納めているように見える文字です。ロータリークラブで使う奉仕という言葉も宗教的な意味合いがあるということを示したいのです。ロータリーでよく言うサービスも、もともとはキリスト教の礼拝の意味ですし、宗教との関係も強いということです。そういう意味で、靖国神社に参り奉納をして帰ってきて、今回のゲリラ事件ですので、少し個人的にもショックでした。

本日は、ロータリー財団の勉強をします。中村公彦地区副委員長のお話を聞きたいと思

## ★幹事報告

## 伊藤正幸直前幹事

例会臨時変更のお知らせ  
 創立記念日例会開催のお知らせ

## ★委員会報告

親睦活動委員会 (細井副委員長)  
 クリスマス家族会開催について

## ★ロータリー財団委員会担当例会

## 委員長あいさつ

## 杉浦節子委員長



こんにちは。ロータリー財団委員会の責務の一つは、会員の皆様にロータリー財団について知って頂くことがあります。新

しい随分増えていきますので、ロータリー財団とは何かと思われる方もおみえになると思います。

本日は、地区ロータリー財団委員会副委員長の中村公彦様をお招きし、「ロータリー財団の今と戦略計画」の卓話を頂きます。この例会で、ロータリー財団がいかにかに人々の生活に変化をもたらしているかを理解して頂き、財団のプログラムに積極的に参加して頂き、寄付をして頂く気持ちを持って頂ければ有難いと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 卓話「ロータリー財団の今と戦略計画」

### 地区ロータリー財団委員会

#### 副委員長 中村公彦氏



こんにちは。  
11月のロータリー財団月間に、委員会メンバーが卓話に向うと、良く分からないとか難しい

と言われがちですが、決してロータリー財団は難しい組織ではありません。皆様から浄財を頂いたものを、3年後に補助金として使う仕組みがあるということ、まず冒頭にお話をさせて頂きたいと思います。

ロータリー財団は、横文字を使う傾向があります。TRFは、ロータリー財団本部のことを言います。DDFやWFと言った言葉を使います。本来は日本語を使えば良いのですが、ロータリー財団委員会は、横文字を使いたがる委員会なので、私も出来るだけそしゃくをしながら話をさせて頂きたいと思っています。

今日のお話は、「ロータリー財団の今と戦略計画」というテーマです。二つの項目を中心に話をさせて頂きます。一つは、来年の2016-2017年度は、ロータリー財団が生まれて100年目の節目を迎える事について、そして補助金のシステムについての話を中心に話をさせて頂きます。

2014-2015年度、豊川宝飯RC様の年次寄付が6,090ドル、1人当たりの寄付が112.78ドル頂いております。ベネファクターが2名、ロータリーカードが1名で聞いて、御礼を申し上げます。

ロータリー財団は、寄付を募る委員会だと思われがちですが、組織上では資金推進委員会があり、ロータリーカードや年次寄付のお願いをさせて頂く委員会です。一人当たり150ドルをお願いしています。その寄付は、3年後に、地区補助金やグローバル補助金のシステムに充てています。皆様方から頂いた浄財は、地区の裁量で分けることが出来る地区補助金と、ロータリー財団とクラブとのやり取りで使えるグローバル補助金になります。このシステムを上手く、活用して頂きたいと

思っております。

ロータリー財団の歴史をお伝えします。来年100年という節目を迎えます。1917年のアトランタの国際大会にて、アーチ・クラフ RI 会長が「全世界的な規模で慈善、教育、その他の社会奉仕の分野で、より良いことをするために基金をつくらう」と言われたのが始まりです。ロータリー財団と言う正式な名称になったのは、1928年のミネアポリスの国際大会です。1931年11月12日、RI理事会の合意のもとで、信託組織という形になりました。11月がロータリー財団月間になっているのは、これが基になっています。

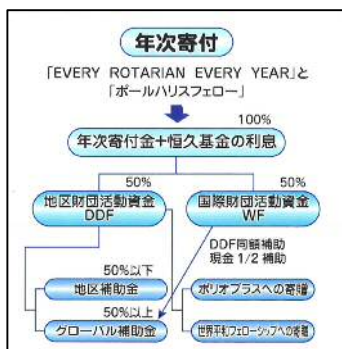
ロータリー財団委員会の使命として、10月のWFFで行ったポリオ撲滅のPR、ロータリアンのロータリー財団に対する知識の向上、年次寄付で頂いた浄財を3年度に補助金として活用、そしてロータリー財団100周年の4つが活動です。

寄付の種類は、年次寄付金、恒久基金、ポリオプラスなどの指定寄付金などあります。ポール・ハリス・フェローは、一人当たり1,000ドル以上寄付された個人の方に対する称号です。ポール・ハリス・フェローを続けられますと、マルチプルという称号が付きます。10,000ドル以上のメジャードナー。その上の250,000ドル以上はアーチ クラフ・ソサエティという称号になります。この地区でも3名おられます。その他ベネファクター、遺贈友の会会員、大口寄付者などがあります。ポール・ハリス・ソサエティ・メンバーというのは、毎年1,000ドル以上を、年次基金、ポリオプラス基金、またはロータリー財団が承認した補助金プロジェクトに寄付した方の称号になります。この地区は10名ぐらい方がおみえになります。クラブに対する称号としては、100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ、100%「財団の友」会員クラブ、「Every Rotarian, Every Year」クラブという称号があります。

END POLIO NOW の一つの大きな目標は、2018年にポリオの終結を迎えるために、ビルゲイツ財団とタイアップして、撲滅の活動をしています。

3年前の田中ガバナー年度に皆様から頂いた年次寄付金と恒久基金の利息が、地区活動資金と国際活動資金の半分に分けられます。地区活動基金をDDFと言います。このDDFを地区補助金とグローバル補助金に半分に分けます。地区補助金は、各クラブから申請を

出された事業にたいして補助金が各クラブに分配されます。この地区補助金の金額は、3年前の寄付金と利息の合計の25%と決まっています。



グローバル補助金も3年前の寄付金と利息の合計の25%となります。為替の関係もあり、ドルでの計算ですので、日本円に換算すると、当時の金額よりも

プラスになっています。今年度の事業に対する補助金は、当時88円だったので、今年はプラスの補助金が戻って来ています。

グローバル補助金は、基本的に30,000ドル以上の事業を対象とし、6つの分野に関するプロジェクトを独自に立案して申請された事業に対しての補助金です。これは、事業費の半分をグローバル補助金から出して、残りの半分を国際活動資金から出します。グローバル補助金を使う事業は、クラブからの拠出金は、ほぼ0円です。

地区補助金は、事業費の半分の金額が申請できる補助金です。クラブからは事業費の半分は拠出して頂く形となります。ふたつの補助金の違いは、ここにあります。

地区補助金の事業は、地域社会貢献、人道的支援など様々な事業に対しての補助金となります。

グローバル補助金の活動の種類は、人道的プロジェクト、大学院レベルの奨学金、職業研修チームの派遣などに使えます。利用するには、活動が実施される国のクラブや地区と、それ以外のクラブや地区や国がパートナーとなって協力することが求められます。重点6項目分野のいずれかに該当することも条件となっています。①平和と紛争予防／紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水の衛生設備 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展。ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加すること。年度を通じていつでも申請することが出来ます。申請が受理された順に審査が行われます。

私の所属する名古屋名東クラブも③の水の衛生設備という項目でグローバル補助金を申請した事業を行いました。バリ島にあるタマンRCとタイアップをして、水の環境に不備があるということでプロジェクトを立ち上げ

て事業を展開しました。このグローバル補助金は、金額的問題と重点6項目が合致すれば、できない事業ではありません。申請される場合には、地区補助金委員会にご相談ください。グローバル補助金は、地区補助金と違って、プロジェクトが終了した後に、自律性がコントロールできるかという点を必ず問われます。持続可能なプロジェクトか、次のプロジェクトへの活かし方など問われます。①と⑥の事業はなかなか難しいかもしれませんが、機会があれば②から⑤の事業をご検討頂ければと思います。

地区補助金の申請から報告までの流れは、8月にロータリー財団セミナーが行われ、来年2月に補助金管理セミナーが行われます。これにクラブから1名以上出席することが資格条件の一つです。地区とクラブとのMOU締結をします。申請期間は1月～3月、申請内容の確認と調整を1月～4月、5月に補助金審査会で承認、6月にロータリー財団に一括申請、7月ロータリー財団で

承認、8月にクラブに補助金支給、7月～2月にプロジェクトの実施、4月最終報告書提出、5月にロータリー財団に一括報告。これが流れになります。皆様方の申請も良い形で申請して頂きたいと思っておりますし、お困りでしたら、地区の補助金委員会にお問合せ頂ければ何らかのご協力が出来ると思っています。詳しいことは、2月の補助金管理セミナーで詳しく説明をさせていただきます。毎年、内容が少しずつ変わっていますので、ご確認をお願いします。

最後にEND POLIO NOWについて、もう少しで消滅すると言われていています。あと2か国、パキスタンとアフガニスタンです。昨年度に比べると数字が良い結果になっています。ロータリー財団が100周年を迎えるにあたり、ポリオ撲滅に向けてご理解を頂きたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

### ★ニコニコボックス

- 中村公彦さん 本日卓話をします
  - 杉浦節子会員 本日の例会を担当します
  - 河本圭史会員 秋の行楽の御礼
  - 大沢茂樹会員 フェニックス西リーグ首位
  - 波多野四郎会員 事業所創業を祝って頂き
  - 林博宣会員 同好会コンペで優勝
  - ゴルフ同好会 馬券の売上金
- 会報担当：廣田 篤会員・中村嘉輝会員